

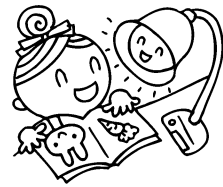


交流会

6月と10月の交流会では、「子どもたちの日本語習得と学力について」話し合い、保護者からたくさんの意見が集まりました。

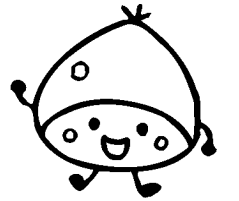
【保護者より】

- 「ゆめの木教室」の時間を増やしてほしい。
- 「ゆめの木教室」の定員を増やしてほしい。
- 定期的に交流会を実施してほしい。
- 月に1回程度、週末に日常会話の教室を開催できるといい。
- 学校内に「ゆめの木教室」のような放課後学習支援教室があるといい。
- 学校では日本語のみを使い、子どもたちには積極的に日本語を使ってほしい。
- 学校では、子どもたちにもっと厳しくしてほしい。
- 日本語能力テストのようなものをもっと実施できるといい。(特に読解)
- 子どもたちが日本語を習得できるような環境改善を考えてほしい。



2019年11月発行 Vol.41

子ども達の国



- 放課後学習支援事業 「ゆめの木教室」
小中学生：月曜日～金曜日 午後2時～6時
- 青少年の自立支援事業 「そら」
木曜日：午後6時30分～8時30分

- 青少年の健全育成のための事業
問題を抱えた子どもとその家族に対し
随時相談・援助を行なう
- 交流会 年4回開催



時間が進むにつれて
誰かが生まれ
誰かが死ぬ
誰かが結婚をあげて
誰かがお葬式をあげる

時間が進むにつれて
誰かが泣く
誰かが笑う
誰かが不幸になり
誰かが幸せになる

時間が進むにつれて
誰かが暗い道を進む
誰かが明るい道を進む
誰かが暗い道を進む

時間が進むにつれて
どこかで太陽が出て
どこかで月が出る
どこかで潮が満ちて
どこかで潮が引く

時間が進むにつれて
どこかで花が咲き
どこかで花がしぼむ
どこかで朝になり
どこかで夜になる

時間が進むにつれて
地球は回る
季節は変わる
地球は進む
時間も進む

夏休みの課題で書いた詩です。





ゆめの木教室

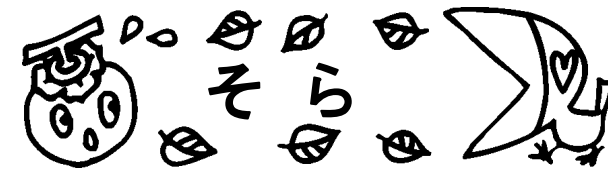
「ゆめの木教室」ではスタッフ間で子どもの様子を共有するため、毎日メールで報告を行なっています。
また小学校、中学校とも情報交換を行ない、子どもの学習の様子を共有しています。

- 1年：拗音、促音の練習がまだ必要です。3つの数の足し算、引き算は指折りしながらですが、よくできています。
- 2年：落ち着いて自分のペースで学習ができました。音読「名前を見てちょうだい」では、会話文の読み方が上手です。
- 2年：時計の時刻が読めますが、時間を求める問題が自力ではできません。
- 3年：「二等辺三角形と正三角形」の性質がよく分かっていません。選んだり、分別したりすることができませんでした。
- 3年：九九が曖昧なので、宿題の割り算のプリントがすんなりできません。
- 4年：割り算のひっ算に時間がかかります。
- 4年：ローマ字表記がだいぶ自力でできるようになってきました。
- 5年：約分のやり方を少しずつですが理解してきています。
- 5年：分子と分母に同じ数をかけて通分するということが理解できません。
- 6年：約分のやり方を面倒がって時間がかかりました。
- 6年：問題文をよく読まないことが原因の間違いが多くみられます。

カメ訪問



愛知学泉大学へカメ訪問に行ってきました。カメの進化／歴史、種類、特徴などカメについてたくさんのお話を学ぶことができました。「子どもの国」からは21名の子どもたちが参加し、実際にカメに触れ合ったり、餌をあげたりして楽しい時間を過ごしました。



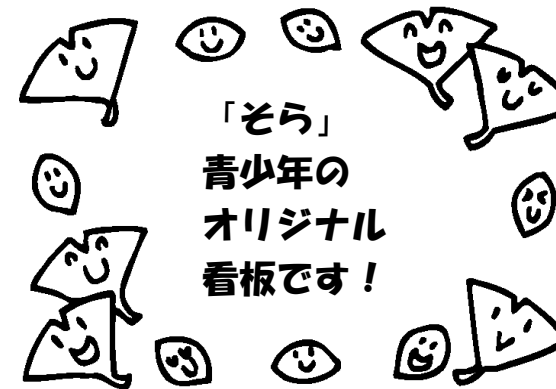
子どもの学習の話や読書の大切さなどの話題が毎回です。



「そら」では、青少年が子育ての悩みや子どもの学習方法の相談を共有したり、中学生が宿題や課題をがんばっています。



「ゆめの木教室」「そら」の新しい看板を作っています。



当法人の「子どもの国」という名称は、ナチ支配下で孤児の子どもたちとともに暮らし、トレブリンカ強制収容所のガス室で死去したポーランドのユダヤ人作家・小児科医・教育者のヤヌシュ・コルチャック先生の著書『子どものための美しい国』から「こどものくに」の6文字をいただきました。



多くの方にお力添えをいただき、今年度は20周年の節目を迎えることができました。心から感謝申し上げます。

スタッフ一同